

映像・アートからみる内灘闘争

石川県内灘村では、内灘砂丘にアメリカ軍の試射場が設置されることに対して、1949年から全国的な反対運動が巻き起こった。57年のアメリカ軍撤収により終焉する内灘闘争は、アメリカ軍関連施設に対する初めての大量闘争として知られている。この内灘での出来事を題材に、「キューボラのある街」で知られる映画監督・浦山桐郎（神戸大学の前身にあたる旧制姫路高等学校出身）は、「非行少女」を1963年に作成した。今回は、アートを通して内灘闘争の歴史と記憶・記録を検証している二人の研究者を金沢から招き、映像・アートとローカルな歴史の関係を議論したい。



プログラム

第一部 ガイダンス (13:00~15:00)

○地域の記憶から描くグローバルヒストリー (辛島理人・神戸大学)

○映画「非行少女」について (神戸大学・板倉史明)

第二部 シンポジウム (15:30~17:30)

報告：稲垣健志 (金沢美術工芸大学)・星野太 (金沢美術工芸大学)

討論：板倉史明 (神戸大学)・辛島理人 (神戸大学)

司会：小笠原博毅 (神戸大学)・井上弘貴 (神戸大学)

12 / Sat.
2018 15

神戸映画サークル協議会ギャラリー
(神戸市中央区楠町5丁目3-11)

地下鉄大倉山・高速神戸・JR神戸
から徒歩5分 (裏に地図掲載)

参加無料,参加申込不要

主催：神戸大学国際文化学研究推進センター(Promis)
国際交流部門 (代表：辛島)

協力：神戸市灘区 (大学と連携したまちづくりチャレンジ事業)

※問い合わせ先 karashima@people.kobe-u.ac.jp